

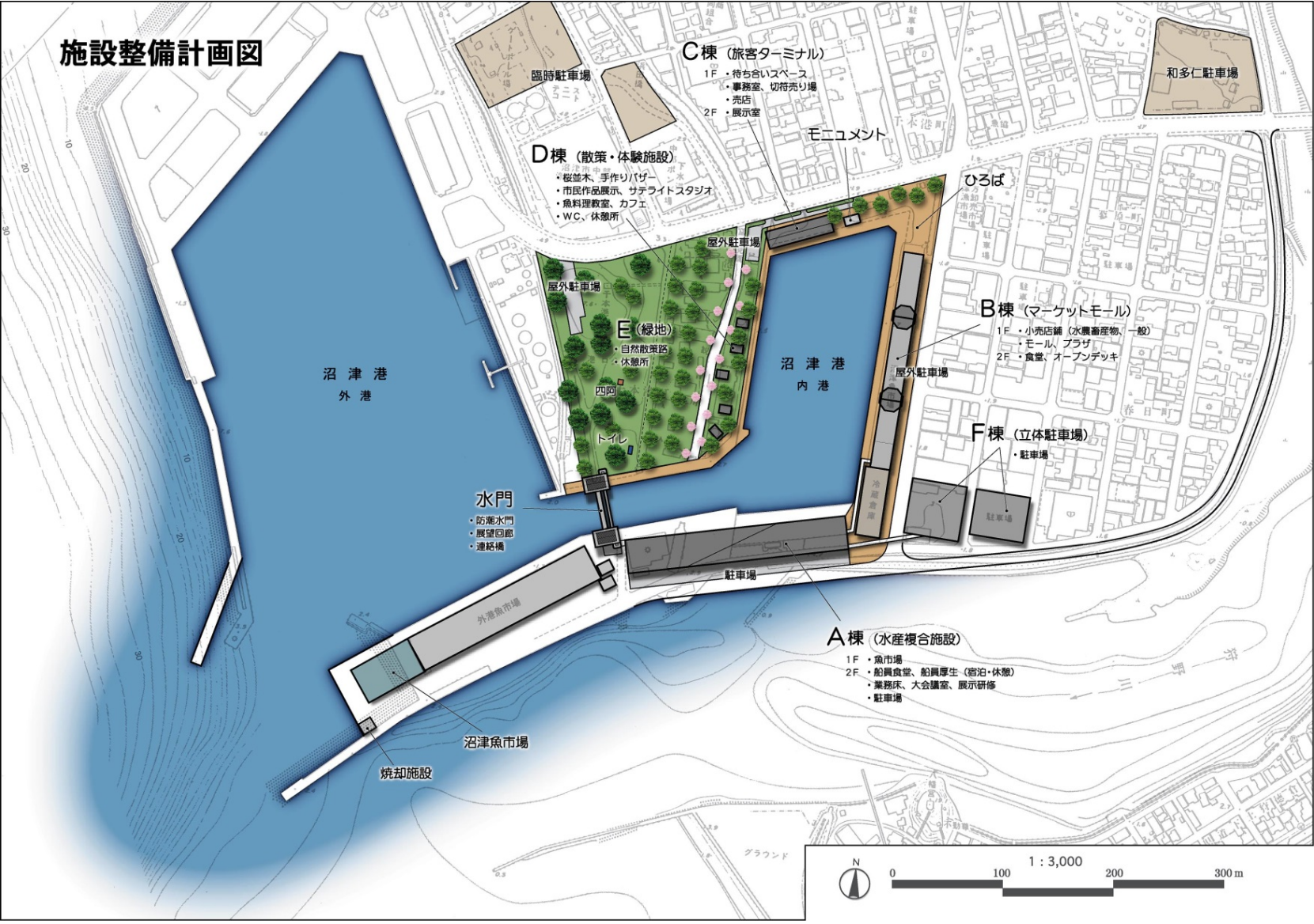
第1回
沼津港振興基本計画策定委員会
～新たなビジョンの策定～

参考資料編

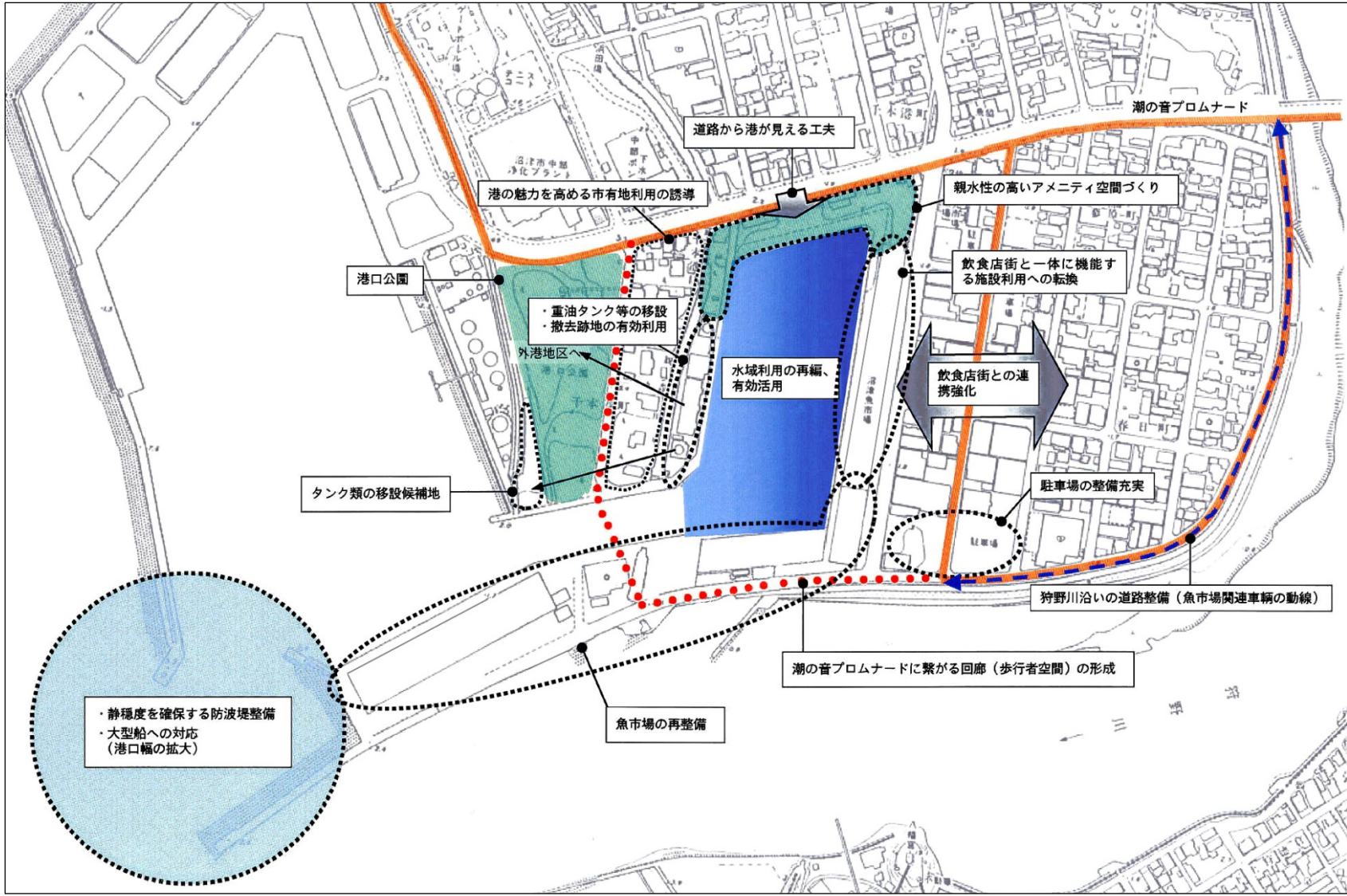
目次

- ・ 沼津港港湾振興ビジョン（平成14年3月策定） …2頁
- ・ 沼津港港湾振興ビジョン（施設整備の考え方） …3頁
- ・ 空間計画・施設計画ワークショップ …4頁
- ・ 沼津港の人流・物流 …5頁
- ・ 沼津港の防災（地震・津波対策） …6頁
- ・ 【静岡県】 ふじのくに観光躍進基本計画 (H26.3) …8頁
- ・ 【沼津市】 観光振興ビジョン (H18.3) …10頁
- ・ 【沼津市】 沼津市景観計画 (H25.12改訂) …11頁

沼津港港湾振興ビジョン (平成14年3月策定)



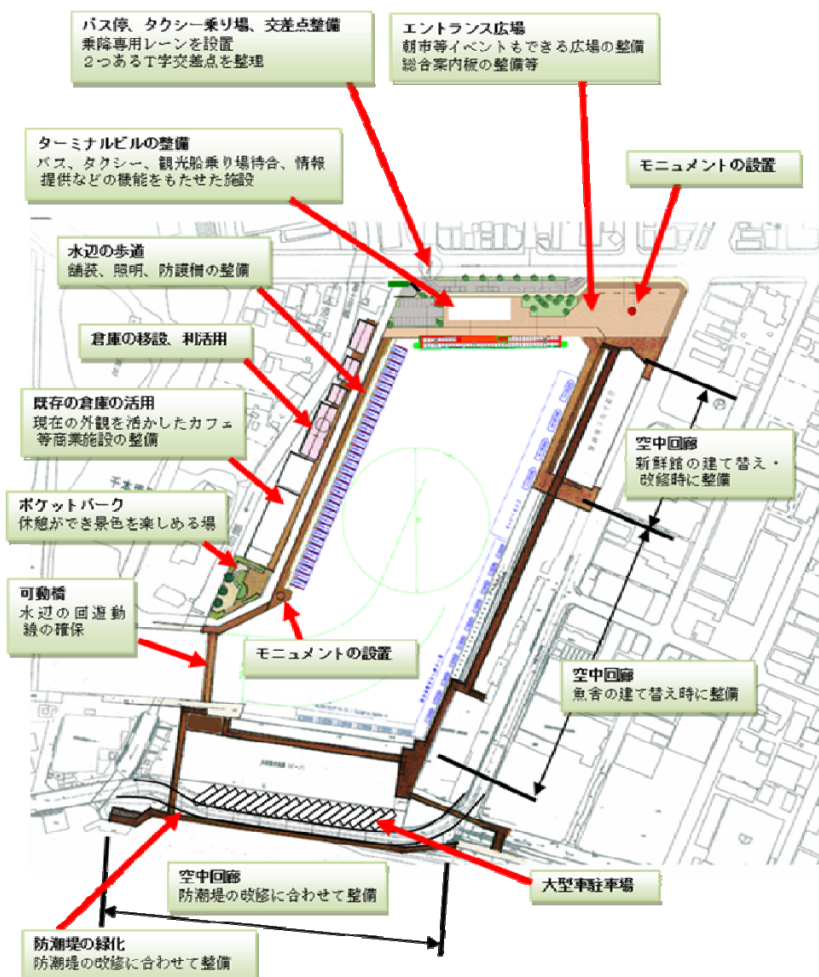
沼津港港湾振興ビジョン（施設整備の考え方）



空間計画・施設計画ワークショップ

- ▶ 地元沼津港関係者と行政によるワークショップ
- ▶ 景観計画有識者をアドバイザーとした
- ▶ 平成23年～平成25年にかけて計6回実施

施設計画（全体計画）



「ワークショップ」のまとめ

- ・富士山、駿河湾、干本松原といった風景に加え、朝日や夕日、夜景が眺められる絶好のロケーションと新旧の視点場を活かした、ハード、ソフトの整備を展開する。
- ・ゾーニングに沿った回遊ルートづくり、街づくりを進め、魅力ある港を見せることを推進する。
- ・船を使った周遊ルートの開拓、船を使った集客を提案する。
- ・沼津港では駐車場問題が大きな課題であり、バス駐車場の整備を含め検討する。
- ・現在沼津港への観光交流人口は増加しているが、伊豆縦貫道の整備など周辺の交通体系の変化により減少する懸念もある。しかし、道路では得られない魅力が港にはあることから、関係者の努力により、全国的にも人を集めることのできる港としてその特徴を活かし、今後も引き続き魅力ある港づくりを行っていく。

● 附帯意見（今後の検討事項）

- ・施設計画案には、新鮮館の北側駐車場が無く駐車スペースが不足する。
- ・北物揚場は、様々な用途に使える貴重な用地であり、利用については長期的な視点に立った検討が必要である。
- ・耐震性に劣る第一市場は、建替えて津波避難施設としても活用すべきである。
- ・ターミナルビル（物販施設を含む）は、一番線側が理想と考えている。

● 最後に

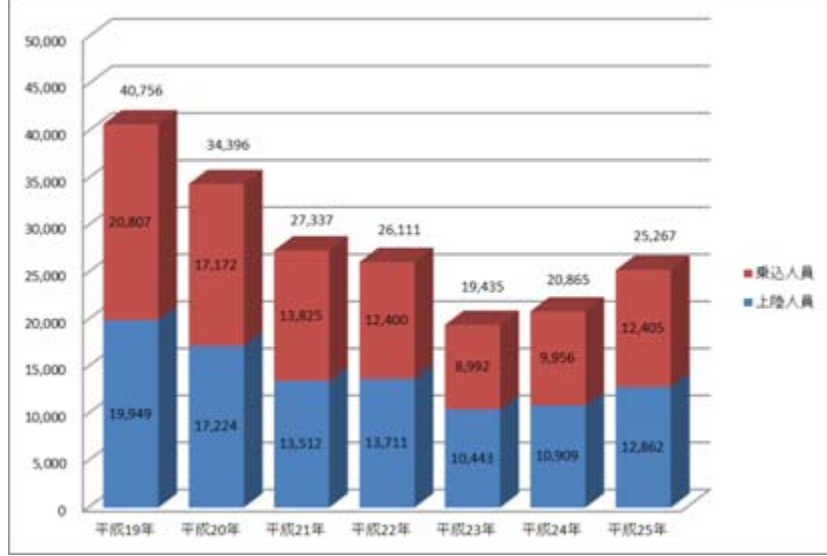
- ・今後、このワークショップの意見を沼津港湾振興ビジョン推進委員会に諮り、具体的な事業主体と整備の優先順位を定めたアクションプログラムを策定します。
- ・整備にあたっては、沼津市の景観形成重点地区として「沼津港周辺地区の景観形成方針」に従って設計を進めます。
- ・これからも官民一体となって、沼津港湾振興ビジョン アクションプログラムを推進します。

皆様のご協力をお願いします。

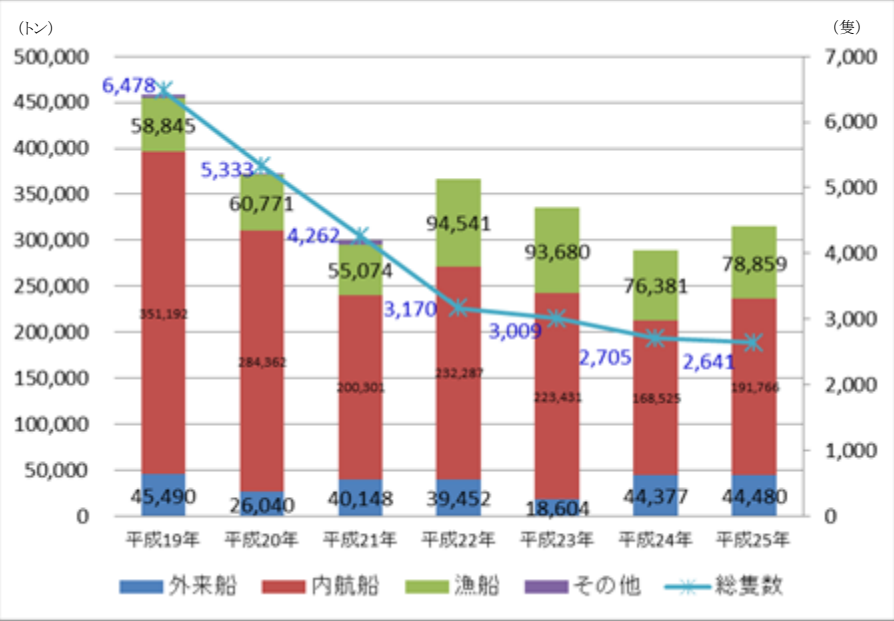
沼津港の人流・物流

- ▶ 乗降人員は、減少傾向にあり平成23・24年は平成19年の約50%まで落ち込んだ。平成25年は回復傾向を見せたが、平成26年8月に定期航路は廃止された。
- ▶ 入港船舶数は減少傾向にあり、平成22年に増加に転じたもののその後減少している。
- ▶ 内港船舶の占める割合が高い。
- ▶ 輸移入数が出入貨物トン数の約65~70%を占める。
- ▶ 主な取扱い貨物は、金属くず、砂・砂利等である。

沼津港乗降人員の推移



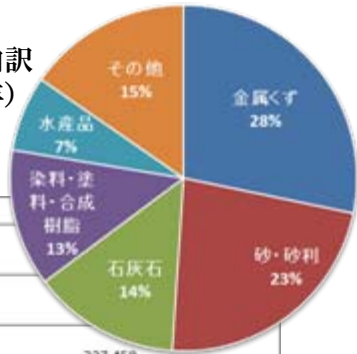
沼津港入港船舶数の推移



沼津港出入貨物トン数の推移



取扱い貨物の内訳 (平成25年)



原出典「港湾統計」

沼津港の防災（地震・津波対策）その1

沼津津波・高潮防災ステーションイメージ図

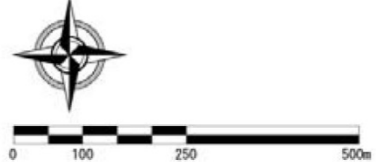


沼津港の防災（地震・津波対策）その2

- ▶ 静岡県の「第4次地震被害想定」によると、レベル2津波による浸水深は、外港で4~8m、内港で2~4mとされている。浸水時間は10~15分と想定されている。
- ▶ 市の防災計画では、「ぬまづみなとパーク」や「びゅうお」などが津波避難ビルに指定されている。

■ 沼津港周辺における津波到達時間と浸水深

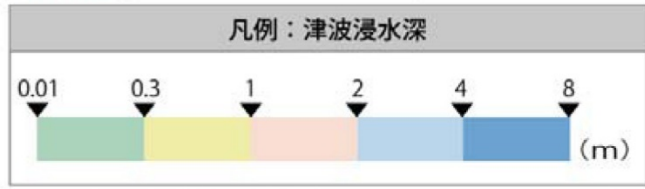
図中記号	施設名	建物階数	避難利用可能延床面積(m ²)	収容可能人数
二46	橘水産(株)	4	275	130
二49	沼津市中部浄化プラント(管理棟)	3	550	270
二50	沼津港大型展望水門びゅうお	高さ・約30m	710	350
二51	ポートブリッジマンション	4	81	40
二52	株式会社五十嵐水産蓼原工場	3	172	80
二53	羽野水産(株)本社	3	306	150
二54	樹魚健ビル	3	210	100
二55	沼津魚類協同組合市場冷蔵庫	3	1,357	670
二56	ぬまづみなとパーク2号棟	5	3675	1830
二57	沼津魚類協同組合製氷工場	5	321	160
二58	羽野水産(株)外港冷蔵庫	3	1684	840
合計・避難可能人数(各施設1位は切り捨て10人丸め)				4620



凡例

	※1 地震発生から 10分
	地震発生から 15分
	地震発生から 20分

陸域での津波の浸水深が30cmとなる時間



【静岡県】 ふじのくに観光躍進基本計画 (H26.3) その1

▶ 計画期間:平成26年度～平成29年度

しずおかの魅力を
つく
“創る”

戦略1 “ふじのくに”の真の魅力を活用した**観光地づくり**
～地域の本物の魅力と誇りの再構築～

- 多彩で魅力あふれる地域資源を活用した観光地づくり
- 伊豆半島ジオパークの推進
- 映画・ドラマ等のロケ地誘致及び観光資源化の促進
- その他の「魅力ある観光地づくり」に繋がる各種ツーリズムの促進

しずおかの魅力に
いぎな
“誘う”

戦略2 ターゲットを明確にした**誘客促進**
～国内外の情勢の変化に柔軟に対応しうる誘客戦略～

<2-1>ターゲットを明確にした国内誘客促進

- 多彩で魅力あふれる地域資源を活用した国内誘客促進
- 市場の特性に応じた観光魅力の発信
- 商品造成の促進と販路拡大への支援
- 企業等のミーティング、インセンティブ旅行、コンベンション等の誘致支援

<2-2>ターゲットを明確にした海外誘客促進

- 多彩で魅力あふれる地域資源を活用した海外誘客促進
- 富士山静岡空港を活用した国際競争力の高い誘客戦略の展開
- 東南アジア等有望市場からの誘客促進
- 企業等のミーティング及びインセンティブ旅行の誘致促進、コンベンション等の誘致支援

しずおかの魅力で
“もてなす”

戦略3 おもてなし日本一の**基盤づくり**
～「心」あるおもてなしと観光客の利便の促進～

- 観光案内所機能の充実
- 観光ひとづくり
- 観光施設の整備
- 観光における危機管理の充実
- 観光統計の整備

基本理念

世界水準の持続的な観光地づくり
をあげる“ふじのくに”の名にふさわしい
日本人の心の源・日本のシンボル「世界遺産
富士山」
「魅力ある観光地づくり」の原点回帰

目指す姿

「本来の観光の姿」＝「地域の本当のいいものを地域の人が誇りに思い、それを来訪客と分かち合う観光」
観光による「地域の魅力向上」

【静岡県】ふじのくに観光躍進基本計画 (H26.3) その2

【今後の伊豆半島地域の施策の基本方向】

- ・「伊豆は一つ」を具現化するため、伊豆全域の統括組織形成を促進するとともに、伊豆全域で展開される広域連携事業への支援を行う。
- ・地域の最大の資源である全国トップクラスの水質の海、美しい自然、歴史ロマン、温泉等の魅力を再構築し、これら伊豆固有の魅力を活用した健康増進と癒しの提供機能を持った新しい温泉保養地づくりを目指す。
- ・伊豆半島ジオパークを核として、「多彩で」「高品質な」「本物の」地域資源を活用した「地域魅力ふれあい型観光」の振興を図り、伊豆観光の質的な転換を促進することにより、日本を代表する観光地「伊豆」の再生を目指す。

最近の観光に関連する主な動き

- ▶伊豆半島が平成24年9月に認定される。今後、平成27年度の世界ジオパーク認定を目指して活動。
- ▶韮山反射炉を含めた「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の世界文化遺産登録推薦書が平成26年1月にユネスコ世界遺産センターに提出され、本年9月26日にイコモスの現地視察が行われた。
- ▶狩野川流域の2市1町と遠州5市1町による「静岡県サイクリングツーリズム協議会」が発足。
- ▶清水港と土肥港を結ぶ航路が「県道223号」として認定。



韮山反射炉



平成25年4月12日
県道223(ふじさん)号 路線認定



【今後の富士地域の施策の基本方向】

- ・富士山の世界文化遺産登録を契機として、富士山周辺地域の観光ビッグバンを目指すとともに、適切な保全管理とのバランスを図りつつ、「持続可能」な「世界レベル」の観光地づくりを目指す。
- ・山梨県をはじめとする隣接する県外の観光地との連携を進め、今後も増加が予想されるインバウンドに適切に対応するための施策を講じるとともに、ビジネス客等のすきま時間にも活用できる多彩な観光魅力の充実を図る。

最近の観光に関連する主な動き

- ▶沼津市に総合コンベンション施設「プラザ・ヴェルデ」がグランドオープン。
- ▶平成28年度中のオープンを目指して、富士宮市に「富士山世界遺産センター(仮称)」の整備が決定される。
- ▶構成資産を巡りながら富士山を歩いて一周する「富士山一周ロングトレイル」が紹介されている。



プラザ・ヴェルデ

観光振興の基本的体系

基本構想

基本計画

【目標】 【方策】 【観光都市の将来イメージ】 【目指すべき姿】

伊豆半島の玄関口として、国内外から静岡県東部・伊豆地域への観光交流の核となる個性ある拠点都市を目指します。

観光交流の核となるべく、沼津の観光都市像を新たに創出し、観光都市のブランドとして「沼津」の価値を継続的に向上させます。

五感満感
「ゆまづ」
海・道楽

本地域が他に誇ることの出来る「海」を強調した観光振興によるまちづくりを推進します。海は、人・モノの交流の拠点としての「港」、産業としての「市場」そして市民をはじめ、文人や観光客など多くの人々に愛されています。また最近では、マリトレジャーや海の景観を楽しみながらのハイキング、そして海の幸などを目的に多くの人たちが訪れるようになりまし。今後、個々のスポットがもつ海の魅力を体系化し、まち全体の観光の色として発信できるように取り組みを進め、観光客に奥深い海の魅力を様々な形で体感していただきます。

1 魅せます沼津・東部・伊豆

2 魅せます沼津で海の幸

3 魅せます沼津で海遊空間

4 魅せます沼津で海と富士山

5 魅せます沼津でおもてなし

A 観光都市のブランド創出

- (1) 観光都市像の創出、観光都市のブランド＝「沼津」の形成と価値向上
- (2) 集客・交流の拡大と観光の活性化、振興の実現

B 沼津から県東部・伊豆地域への流れの創出

- (1) 沼津への観光客が、県東部・伊豆地域の観光地にも立ち寄る環境整備
- (2) 観光振興をとおし県東部・伊豆地域の活性化のため相互が力を発揮し、補完しあえるまちづくりを牽引

C 県東部・伊豆地域から沼津への流れの創出

- (1) 県東部・伊豆地域の観光客が、沼津にも立ち寄る環境整備
- (2) 観光周遊が、広域で活性化する観光広域圏の形成

D 海山の幸と食の充実

- (1) 海と山の幸料理の充実とブランド化
- (2) 河岸、街なかの店、農・漁村での彩りある食の提供
- (3) 食と散策の道・界限づくり
- (4) 沼津の食を普及する人材の育成
- (5) 沼津の食を支える組織づくりと運営

E 加工・特産品の充実

- (1) 海山の幸と加工・特産品の強化・充実
- (2) 特色ある食品素材、機能性商品等の開発と販売
- (3) 海の資源を用いたセラピーなどのサービスの開発と事業化
- (4) 海洋深層水を活用しての魚介類、藻類の養殖
- (5) 物産・サービスの品質向上とブランド化

F 食のイベント・情報提供

- (1) 祭り・イベントでの食の活用とPR
- (2) 新たな食コンテストの導入・開催
- (3) 沼津の食文化の発掘と現代化
- (4) おいしい街歩きマップなど食情報の制作
- (5) 食と宿泊・レジャー等をセットしたサービスの開発・提供

G 海遊空間の楽しみ創出

- (1) 沼津港と河岸のにぎわいづくり
- (2) 海山の遊びの拠点づくり
- (3) マリトレジャー事業や観光・交通事業の振興
- (4) 温泉の利活用

H 海山の体験型観光の充実

- (1) 海と山の体験メニューの整備とプログラムの導入・充実
- (2) 海と山の拠点整備・コースづくりと交通手段の確保
- (3) 農林水産資源を活用した体験観光への取り組み
- (4) ものづくりと産業観光の振興

I イベント・コンベンションによる交流拡大

- (1) 祭り・イベントの組み換えや内容充実
- (2) ビジネス等に対応できる会議場、展示・宿泊施設の確保
- (3) コンベンション・ビュローの設立と情報活動の実施
- (4) 各種会議・メッセなどの誘致と会議後の観光の受け止め

J 景観スポット整備

- (1) 海と富士山の景観を楽しめるスポットの整備と名所・ルート化
- (2) 狩野川河口や市街地の夜景を楽しむしくみづくり
- (3) ハイキングコース・眺めのスポットの整備
- (4) 入江や港、農山漁村の景観保持

K 環境の保全と向上

- (1) 海岸、河口、岬、山における清掃と汚染防止
- (2) 砂浜の維持・養浜事業の実施
- (3) 海の調査と生態・植生等の保護
- (4) 生活排水対策、産業の環境対策と健康・元気な海づくり

L 歴史・文学資源の保全と活用

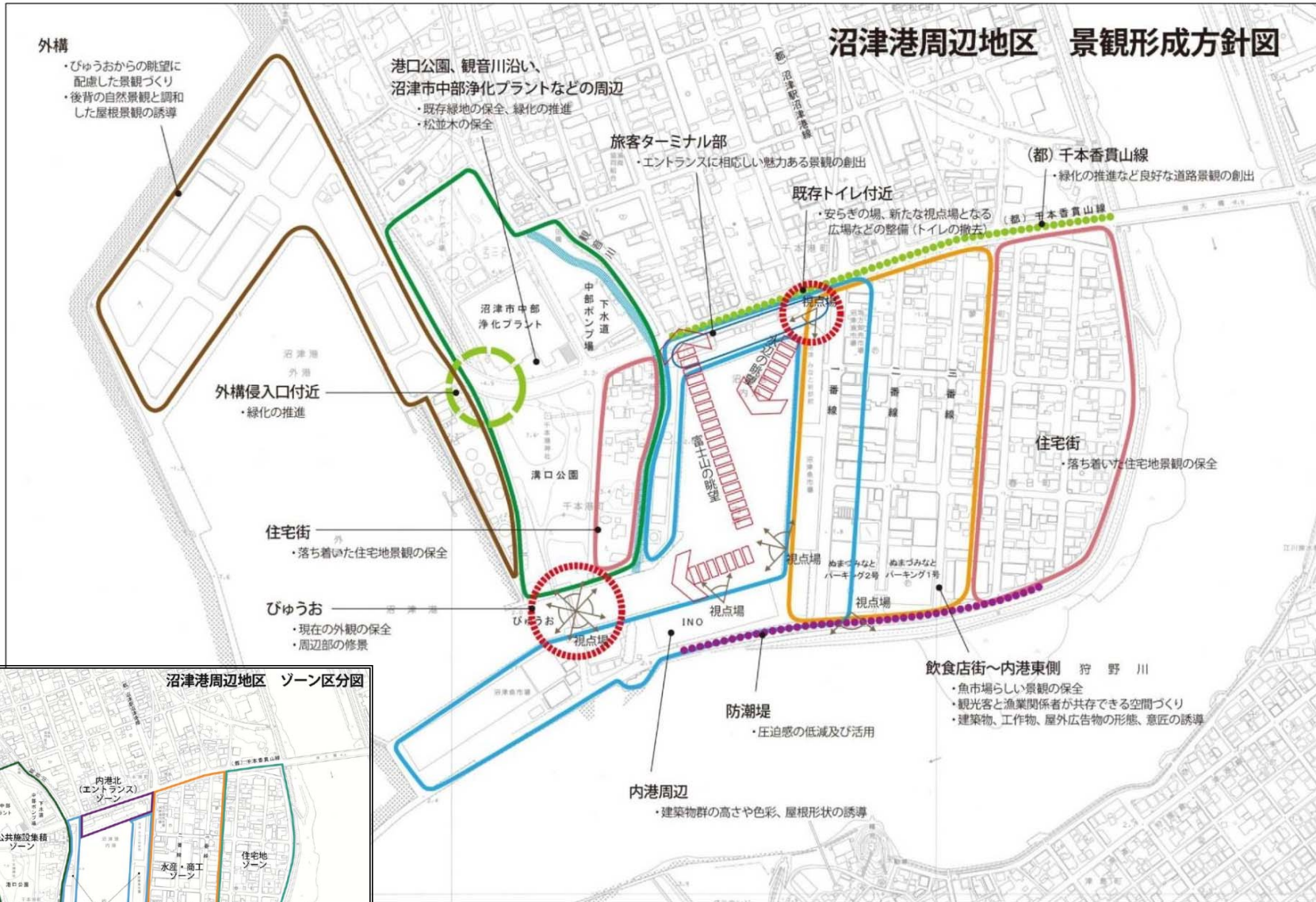
- (1) 沼津の歴史・生活文化の再評価と観光文化としての発信
- (2) 文学資源の活用

M 快適観光への環境整備

- (1) 観光案内板・サイン、道路標識の整備
- (2) 観光のまちの雰囲気づくりや情報提供
- (3) 市観光ホームページ等の充実
- (4) 観光スポットやサービス提供面での外国語表記の導入
- (5) 道路・交通網の整備

N もてなしの心を育てる

- (1) 観光ボランティアガイド等の育成
- (2) 市民のおもてなしの気持ち醸成と観光客との交流の場の創出
- (3) 観光事業・サービスをとおしてのもてなしの充実
- (4) 誰にでも優しい受け入れ態勢のあるまちづくり



景観形成重点地区 基本目標

- ・沼津駅周辺地区「沼津の顔となる 賑わい溢れる景観づくり」
- ・白隠のみち地区「白隠のこころと歴史を大切にする、やすらぎの“白隠の里”」
- ・沼津港周辺地区「魚市場らしさを核とした魅力あふれる沼津港景観をつくる」